

1. 学習項目

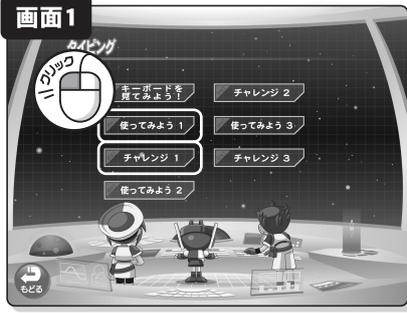
タイピング

2. 本時の目標

- ・キーボードの基本的な使い方を学ぶ。
- ・ホームポジションを理解し、積極的に練習をする。

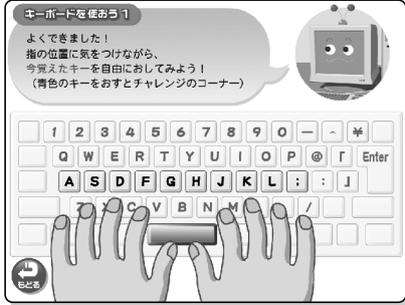
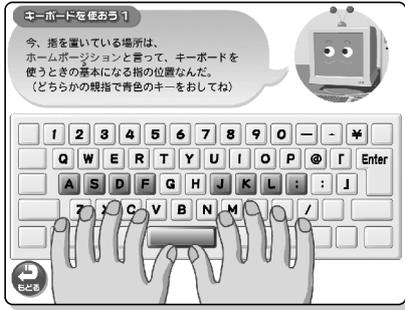
3. 本時の展開

ソフト 該当項目	『タイピング』 使ってみよう1 チャレンジ1
-------------	------------------------------

	画面例	教師の働きかけ	児童の活動
つかむ		<p>「算数や国語の時間に、パソコンはもう使いましたね。」</p> <p>「正しいキーボードの打ち方をマスターすると、文章をパソコンで書く時、とても早く入力できますよ。」</p> <p>「みんなも、早くかっこよくキーを打てるようになりたいと思いませんか？」</p>	<p>「算数で使ったよ。」</p> <p>「国語でも使ったね。」</p> <p>「ふうん。」</p> <p>「いいなあ。」</p> <p>「なりたい！」</p> <p>「なりたいです！」</p>
見通しをもつ		<p style="text-align: center;">タイピングの基本である、ホームポジションの練習をする。</p> <p>「いつもは、マウスを使っていましたが、今日はキーボードを使います。」</p> <p>教師用の画面を見せながら、児童の前にあるパソコンのキーボードのキーを押させるとよいでしょう。(説明の時は、児童のパソコンの電源を入れない方が、統一して進めるかもしれません。)</p> <p>「みなさんも、自分の前のキーボードの青いキーを押してください。」</p> <p>「まず、左手の人差し指を青いキーの上に置き、そのままゆっくり押してみましよう。」</p> <p style="text-align: center;">順番に、「D」「S」「A」と進む。</p> <p>「今の位置は、とても大事なので、覚えておきましょう。」</p> <p>「左手の小指で、『A』を押してみてください。」</p> <p>「人差し指は、ちゃんと『F』の上にありますか？」</p> <p style="text-align: center;">右手も同様に、「J」「K」「L」「;」と進む。</p>	<p style="text-align: center;">キーを押すと、「エフ」と発音して画面に表示されます。</p> <p>「押せたよ。」</p> <p>「指を丸くすると、やりやすいね。」</p>



見通しをもつ



「キーボードに手を置くときは、自然にホームポジションの位置に来るように練習しましょう。」

「慣れてくると、キーを見なくても打てるようになりますが、今はゆっくり正確に打つようにしましょう。」

「今日は、まずホームポジションのキーの練習です。今やったことを、みなさんの画面で確認しましょう。」

「できた人は、**チャレンジ1**に進んでいいですよ。」

「はい。」

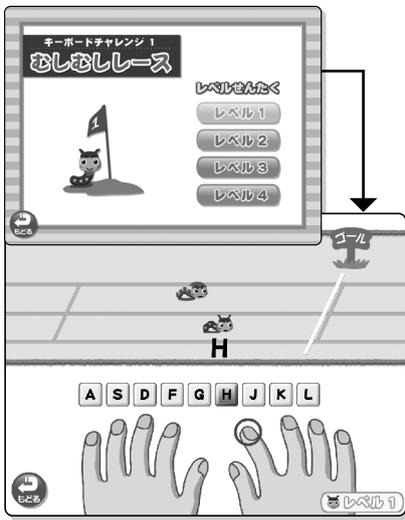
「見ないで打つのは、難しそうだなあ。」
「早く、打てるようになりたいな。」

使ってみよう1を児童に実際に確認させる。

上のコーナーの確認ができれば、**チャレンジ1**に進ませる。



身につける



左は、**画面1** より**チャレンジ1**を選んだ時の画面です。

※ レベル1は打つ指と、キーボードが画面に表示されます。
※ 第一段階としては、レベル1がクリアできれば十分ですが、意欲的な児童には上のレベルにチャレンジさせてあげてください。
※ レベル4は、速さと正確さが要求されます。タイピングメソッドが正確にできないとクリアできません。



まとめる



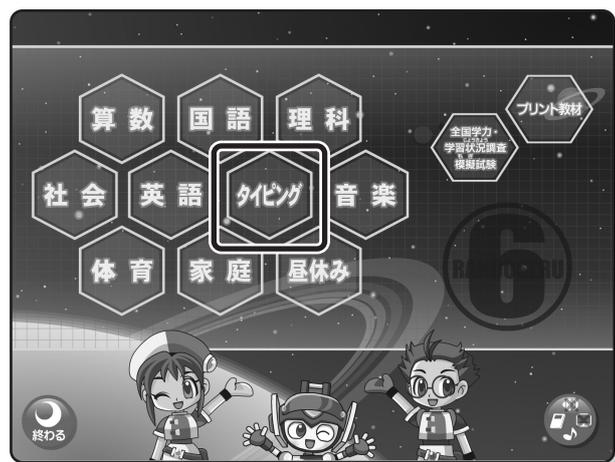
「レースはどうでしたか？」
「今は、正確に打つことが大事なので、レベル1を何度もやってみるのもいいですよ。」

ワークシートを配布する。

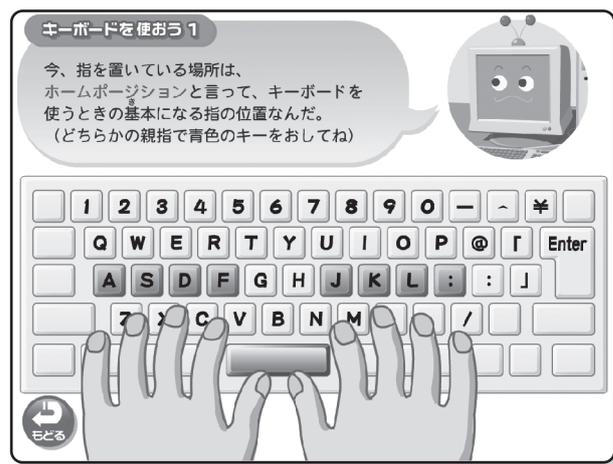
「わあい！勝てたよ。」
「レベル2は難しいなあ。」
「私は、レベル2でも勝てたよ。」
「また、やりたいなあ。」
「今度は、もっと上のレベルに挑戦したい！」

memo

メニュー画面



【使ってみよう1】



キーが反応しない場合は、ソフト画面上(ブラウザの中央)をクリックしてください。(ソフトに制御を戻すためです。)

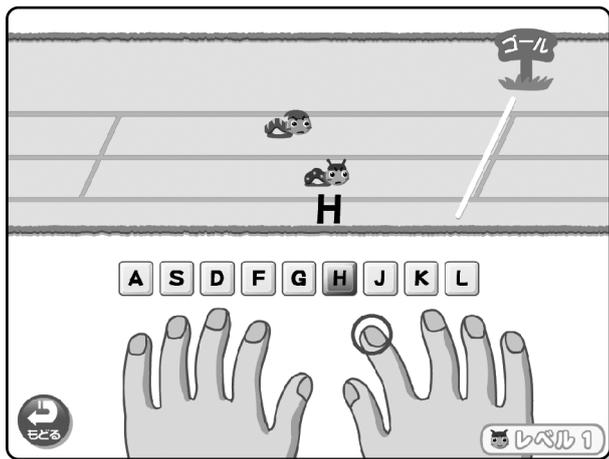
[チャレンジ1] メニュー画面



- ※ 日本語が表示される場合は、Altキーと半角・全角キーを同時に押して、半角英数入力モードにしてください。
- ※ チャレンジ1~3には、それぞれレベル1~4のキーボード練習コーナーがあります。児童のレベルに応じたコーナーに挑戦させましょう。

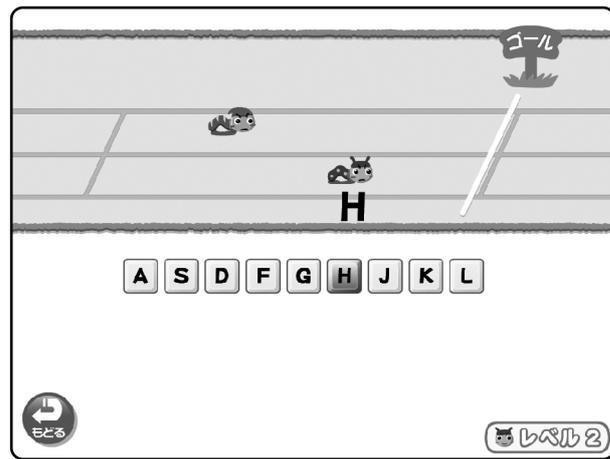
memo

[チャレンジ1] レベル1の画面



- ▲ レベル1では、キーの位置と指が画面に表示されます。

[チャレンジ1] レベル2の画面



- ▲ レベル2では、キーの位置は表示されますが、指は表示されません。

[チャレンジ2] レベル1の画面



- ▲ 人さし指の練習をします。

[チャレンジ3] レベル1の画面



- ▲ 全ての文字の練習をします。

組 番 名前

日付	チャレンジ				結果	感想
/	1	2	3			
	レベル					
	1	2	3	4		
/	チャレンジ					
	1	2	3			
	レベル					
/	1	2	3	4		
	チャレンジ					
	1	2	3			
/	レベル					
	1	2	3	4		
	チャレンジ					
/	1	2	3			
	レベル					
	1	2	3	4		
/	チャレンジ					
	1	2	3			
	レベル					
/	1	2	3	4		
	チャレンジ					
	1	2	3			
/	レベル					
	1	2	3	4		
	チャレンジ					
/	1	2	3			
	レベル					
	1	2	3	4		
/	チャレンジ					
	1	2	3			
	レベル					
/	1	2	3	4		
	チャレンジ					
	1	2	3			
/	レベル					
	1	2	3	4		
	チャレンジ					